



平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月13日

上場会社名 株式会社ジオネクスト
 コード番号 3777 URL <http://www.geo-nx.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 楊 暁軍
 (氏名) 森蔭 政幸
 TEL 03-6261-0081

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	1,809	183.6	46	176.2	7		5	
29年12月期第3四半期	637	21.4	16	85.2	28		29	

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 5百万円 (%) 29年12月期第3四半期 29百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	0.04	0.04
29年12月期第3四半期	0.28	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第3四半期	2,688	2,438	90.5	19.65
29年12月期	2,706	2,432	89.7	19.60

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 2,433百万円 29年12月期 2,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00			
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	54.1	80	40.3	61	249.7	53	256.2	0.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	123,890,380 株	29年12月期	123,890,380 株
期末自己株式数	30年12月期3Q	5,160 株	29年12月期	4,760 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	123,885,424 株	29年12月期3Q	106,811,880 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年1月1日～平成30年9月30日)におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で世界経済についても緩やかに回復しているものの、海外の政治・経済政策の動向や地政学的リスクの高まりによる影響が懸念されるなど、世界情勢の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業においては、日銀短観(平成30年9月調査)における平成30年度ソフトウェア投資計画(全規模・全産業合計)が、前年度比11.1%増となる等、企業におけるIT投資の増額により市場規模の穏やかな拡大が期待されております。

このような経済状況のなかで、当社グループは、安定した収益基盤の構築と持続的な事業の拡大を目指し、IT関連事業、環境事業、再生可能エネルギー事業の効率化を図り収益力の改善・強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,809,037千円(前年同四半期比183.6%増)、営業利益46,372千円(前年同四半期比176.2%増)、経常利益7,367千円(前年同四半期は経常損失28,531千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,382千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失29,866千円)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(IT関連事業)

IT関連事業では、Webアプリケーションの開発及び安定運用を実現するためのソフトウェアであるZend製品やWebシステムに欠かすことのできないデータベース製品、LinuxOSを使ったサーバー管理用ソフトウェア製品を中心に、ソリューション及びサポートを提供しております。当第3四半期連結累計期間におきましても引き続き既存製品の機能強化や協業企業との連携による付加価値向上に取り組んだ結果、売上高66,430千円(前年同四半期比7.6%増)、営業利益12,197千円(前年同四半期比1.4%増)と、前年同期を上回る結果となりました。

(環境事業)

環境事業では、マンション管理やオフィスビル等のメンテナンスサービスを中心に事業を行っております。当第3四半期連結累計期間におきましては、既存顧客へ高品質なサービスの提供やマンション管理委託物件の増加により、売上高58,708千円(前年同四半期比3.3%増)、営業損失175千円(前年同四半期は営業損失1,895千円)と、前年同期を若干上回る結果となりました。

(再生可能エネルギー事業)

再生可能エネルギー事業では、発電所の開発及びその代行、第三者への売却並びに売電事業等を行っております。当第3四半期連結累計期間におきましては太陽光発電所の売電収入及び譲渡より、売上高1,683,898千円(前年同四半期比224.2%増)、営業利益159,334千円(前年同四半期比10.1%増)と、前年同期を上回る結果となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産・負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ18,040千円減少し、2,688,236千円となりました。流動資産は19,041千円の減少となり、その主な要因は、現金及び預金が1,137,748千円増加したものの、商品が1,060,077千円、前渡金が14,337千円、その他流動資産が97,614千円減少したことによるものであります。固定資産は5,072千円の増加となり、その主な要因は、土地が2,455千円、投資その他の資産が1,635千円増加したことによるものであります。

総負債は、前連結会計年度末に比べ23,402千円減少し、249,955千円となりました。その主な要因は、流動負債においてその他流動負債が79,698千円増加したものの、前受金が30,482千円、短期借入金が58,000千円、未払法人税等が8,908千円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5,362千円増加し、2,438,280千円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益5,382千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月14日に「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	679,887	1,817,635
受取手形及び売掛金	21,737	23,093
商品	1,717,319	657,241
前渡金	62,114	47,776
未収入金	11,420	25,322
その他	138,646	41,032
貸倒引当金	△65	△81
流動資産合計	2,631,060	2,612,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	—	564
工具、器具及び備品(純額)	453	1,053
土地	57,410	59,865
有形固定資産合計	57,864	61,483
無形固定資産	723	539
投資その他の資産	8,052	9,687
固定資産合計	66,639	71,711
繰延資産	8,577	4,505
資産合計	2,706,277	2,688,236
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,187	8,458
短期借入金	158,000	100,000
未払金	4,971	4,371
未払法人税等	12,055	3,146
前受金	48,079	17,597
預り金	28,050	24,669
その他	12,014	91,712
流動負債合計	273,358	249,955
負債合計	273,358	249,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,048,545	1,048,545
資本剰余金	1,362,324	1,362,324
利益剰余金	18,139	23,521
自己株式	△589	△610
株主資本合計	2,428,418	2,433,780
新株予約権	4,500	4,500
純資産合計	2,432,918	2,438,280
負債純資産合計	2,706,277	2,688,236

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	637,976	1,809,037
売上原価	418,285	1,528,290
売上総利益	219,691	280,746
販売費及び一般管理費	202,902	234,374
営業利益	16,788	46,372
営業外収益		
受取利息	1,077	20
その他	14,459	355
営業外収益合計	15,536	376
営業外費用		
支払利息	633	1,689
関係会社支払利息	16,241	—
為替差損	0	0
開業費償却	2,608	2,687
支払手数料	40,699	3,388
和解金	—	29,081
その他	673	2,534
営業外費用合計	60,857	39,381
経常利益又は経常損失(△)	△28,531	7,367
特別利益		
その他	917	—
特別利益合計	917	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△27,613	7,367
法人税、住民税及び事業税	2,252	1,984
法人税等合計	2,252	1,984
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,866	5,382
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,866	5,382

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,866	5,382
四半期包括利益	△29,866	5,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,866	5,382
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	I T 関連事業	環境事業	再生可能 エネルギー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	61,734	56,806	519,434	637,976	-	637,976
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	61,734	56,806	519,434	637,976	-	637,976
セグメント利益又は 損失(△)	12,035	△1,895	144,720	154,860	△138,071	16,788

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに帰属しない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	I T 関連事業	環境事業	再生可能 エネルギー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	66,430	58,708	1,683,898	1,809,037	-	1,809,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	66,430	58,708	1,683,898	1,809,037	-	1,809,037
セグメント利益又は 損失(△)	12,197	△175	159,334	171,356	△124,983	46,372

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに帰属しない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(第16回新株予約権の行使)

当社は、平成30年10月18日に第16回新株予約権の一部について権利行使がありました。その概要は、以下のとおりです。

- | | |
|--------------------|------------|
| (1) 発行した株式の種類及び株式数 | 4,500,000株 |
| (2) 増加した資本金の額 | 69,750千円 |
| (3) 増加した資本準備金の額 | 69,750千円 |

これにより、資本金は1,118,295千円、資本準備金は618,295千円、発行済株式総数は128,390,380株となりました。なお、平成30年10月18日をもって第16回新株予約権の全ての権利行使が完了いたしました。

(子会社等の設立)

当社は、平成30年9月25日開催の取締役会において、中国に子会社を設立することを決議し、平成30年10月25日に以下のとおり設立いたしました。

(1) 設立の目的

現在、日本においてヘルスケア事業を展開し中国市場へ事業展開を検討されている企業を対象に、中国におけるヘルスケア事業に係る協業及びビジネス支援を提供することを目的に子会社を設立いたしました。

(2) 子会社等の概要

名称	吉奥莱科特医疗健康科技(上海)有限公司
所在地	中華人民共和国 上海市
代表者	代表取締役 車 陸昭
主な事業内容	1. 医療科学技術事業に関する技術開発、技術譲渡、技術コンサルティング、 技術サービス業務 2. 養老サービス業務
資本金	1億元(約16億円)
設立年月日	平成30年10月25日
出資比率	株式会社ジオネクスト 100%

(注) 資本金は設立する子会社の事業規模により順次投資する予定であります。

(重要な契約の締結)

当社の連結子会社であるエリアエナジー株式会社は、平成30年10月9日開催の取締役会において、株式会社敷島ファームとの間で太陽光発電所の取得に関する契約を締結することを決議し、平成30年11月9日付で取得が完了いたしました。その概要は、以下のとおりです。

(1) 契約の目的

福島県双葉郡広野町及び宮城県児湯郡高鍋町に所在する本発電所は既に売電中であり固定価格買取制度の価格も高く、売却による当社グループの収益への大きな貢献が期待されることから、取得を決定いたしました。

(2) 契約の相手先の名称

株式会社敷島ファーム

(3) 締結の時期

平成30年10月15日

(4) 契約の内容

本発電所の所有権、土地の地上権及び本発電所の権利(経済産業省設備認定IDと電力会社との受給契約に関する権利義務を含む発電施設)を取得の対象とする契約であり、取得価額につきましては、契約上の守秘義務により非開示とさせていただきます。